

国立歴史民俗博物館 研究報告

第9集 共同研究「中世荘園の現地調査 ——太田荘の石造遺物」

序言 土田直鎮

中世荘園の現地調査の意義 田中 稔

第一部 太田荘域における石造遺物の実態
波田一夫・蔵橋純海夫

第二部 荘園の現地調査と石造遺物調査 水藤 真

昭和61年3月

*目次

●序言	土田直鎮	1
●中世荘園の現地調査の意義	田中稔	19
●第一部 太田荘域における石造遺物の実態		23
第一章 太田荘の石造遺物	波田一夫 蔵橋純海夫	23
——種別ごとの解説——		
第二章 名主屋敷の比定と五輪塔	波田一夫	201
——太田荘石造遺物の若干の考察にかえて——		
●第二部 荘園の現地調査と石造遺物調査	水藤真	241
第一章 太田荘の石造遺物の概観と特徴		241
第二章 中世墓地・葬送の様相		263
第三章 荘園の現地調査と石造遺物の調査		268
おわりに		272

昭和61年3月

＊細目次

■序言……………1

■中世荘園の現地調査の意義……………19

■第一部 太田荘域における石造遺物の実態……………23

第一章 太田荘の石造遺物……………23

——種別ごとの解説——

(一) 多層塔……………23

1 若永の層塔残欠……………24

2 万福寺跡の七重塔……………28

3 毘沙門堂脇の五重塔……………30

4 福井家墓地の三重塔残欠……………32

5 福仙寺跡の三重塔……………33

6 その他の層塔残欠……………34

(二) 宝塔……………35

1 慈徳院墓地の宝塔……………35

2 福仙寺墓地の宝塔残欠……………36

(三) 宝篋印塔……………38

1 今高野山胡神社脇の宝篋印塔残欠……………44

2 光明寺跡の宝篋印塔……………45

3 万福寺跡の宝篋印塔……………48

4 普光寺開山の宝篋印塔……………50

5 普光寺の宝篋印塔群……………52

6 明覚寺跡墓地の宝篋印塔……………53

7 下津屋十二坊跡の宝篋印塔……………56

8 小吹気の宝篋印塔……………58

9 砂田山近奥の宝篋印塔……………59

10 北之坊の宝篋印塔……………60

11 金剛丸の宝篋印塔……………61

12 安田かなん堂脇の宝篋印塔……………63

13 高山の宝篋印塔……………63

14 神岡山の宝篋印塔……………65

15 川尻の薬師堂境内の宝篋印塔……………66

16 今高野山福智院裏庭の宝篋印塔……………67

17 東上原、大原家上の石塔残欠……………67

18	白雲寺跡の宝篋印塔	68
19	歎喜寺跡の宝篋印塔	70
20	潮音寺の伝赤川氏墓地の宝篋印塔	71
21	観音寺跡の宝篋印塔	73
22	長田篠村の宝篋印塔	74
23	善法寺の宝篋印塔	75
24	播磨の宝篋印塔	76
25	万年寺跡の宝篋印塔	77
26	徳万墓地の宝篋印塔残欠	79
27	大坪の宝篋印塔	80
28	福田の黒杭氏墓地脇の宝篋印塔残欠	81
29	潮楽寺跡の宝篋印塔	82
30	善昌庵の宝篋印塔	84
31	松ヶ峠の伝松尾修理大夫塔	85
32	石塔曾根の宝篋印塔	86
33	鳳林寺の伝湯浅氏宝篋印塔	87
34	文裁寺墓地の宝篋印塔	89
35	今高野山観音堂前の宝篋印塔	90

	(四) 石灰岩製の宝篋印塔	92
1	平谷家裏の宝篋印塔	94
2	久代城跡の宝篋印塔	95
3	深串家前の宝篋印塔	96
4	円城寺上の宝篋印塔	97
5	城の洲沢家裏山の宝篋印塔残欠	98
6	行者が原の宝篋印塔	99
7	千田平の宝篋印塔	100
8	水越石塔坂の宝篋印塔	102
9	下横路の宝篋印塔	103
10	目谷の宝篋印塔	103
11	大前寺跡近くの宝篋印塔	104
12	福仙寺跡の宝篋印塔(元堂山塔)	105
	(五) 五輪塔	106
1	今高野山塔の岡の五輪塔	109
2	田打八幡神社の五輪塔残欠	110
3	下津屋十二坊跡田中家墓地脇の塔	112
4	五反平の五輪塔残欠	112

22	高橋家脇の五輪塔残欠	134
21	重永の宮ヶ森の五輪塔群	133
20	柳原家上の五輪塔残欠	132
19	永安寺跡の五輪塔群	131
18	善法寺の五輪塔	131
17	高山の五輪塔	130
16	城の秋坂谷の五輪塔	129
15	福仙寺跡墓地の五輪塔	128
14	十二坊跡の五輪塔	126
13	久代谷薬師堂の五輪塔群	124
12	万福寺跡大仙社脇の五輪塔	124
11	万福寺跡の五輪塔群	122
10	黒淵の金福寺跡の五輪塔群	121
9	明覚寺跡墓地の五輪塔	120
8	井折の住宅上の五輪塔残欠	119
7	赤屋堂風呂の五輪塔	118
6	安楽院墓地の五輪塔残欠	116
5	城の洲沢家裏山の五輪塔残欠	114

9	箱の行盲家墓地脇の一石五輪塔	152
8	箱の旧延安家墓地の一石五輪塔	150
7	長尾の一石五輪塔	150
6	照善寺境内の一石五輪塔	149
5	慈徳院墓地の一石五輪塔	149
4	万年寺跡の一石五輪塔	148
3	善法寺の一石五輪塔	147
2	時森谷の二石五輪塔	146
1	堀越万福寺跡の二石五輪塔(五輪卒都婆)	145
	(六) 一石五輪塔	143
30	今高野山金剛寺墓地の五輪塔	141
29	文裁寺墓地の石灰岩製五輪塔	140
28	定光地墓地の経塚塔	140
27	横坂の矢原の五輪塔群	138
26	矢倉の五輪塔	137
25	窪田堂付近の五輪塔残欠	136
24	中迫こうげの五輪塔群	136
23	長寿椿の五輪塔群	135

	(六)		
1	無縫塔	164	
1	康徳寺開山の無縫塔	165	
8	矢熊の自然石板碑	163	
7	今高野山の光明真言板碑	162	
6	今高野山の種子板碑	162	
5	万福寺跡の板碑	161	
4	京丸の板碑	161	
3	宮広家前の板碑	160	
2	金行家裏山の板碑	159	
1	峠の塔の岡板碑	159	
	(七)		
	板碑	158	
16	川尻久恵の坂東家墓地の墓石	157	
15	尾道屋の墓碑	156	
14	三上家墓地の一石五輪塔	156	
13	影政の一石五輪塔	155	
12	今高野山墓地の一石五輪塔	154	
11	小世良農免道路脇の一石五輪塔	154	
10	金藤家脇の一石五輪塔	153	

	(八)		
13	金光家裏の石仏	181	
12	医王寺跡、薬師堂脇の石仏	180	
11	播磨赤羽根道脇の石仏	180	
10	万福寺跡宮広家脇の二尊石仏	179	
9	永安寺跡の石仏	179	
8	別迫の大規模農道脇の辻堂の石仏	178	
7	福仙寺跡の石仏	178	
6	今高野山護摩堂脇の石仏	177	
5	宗友荒神脇の六地藏	176	
4	極楽寺の地藏菩薩立像	175	
3	西神崎、松葉屋横の辻堂にある地藏菩薩	174	
2	上谷大池畔の石仏	174	
1	東上原大原の石仏	173	
	(九)		
	石仏	171	
5	丹下寺跡の無縫塔	170	
4	文裁寺墓地の無縫塔	169	
3	万年寺跡の無縫塔	167	
2	慈徳院墓地の伝開山無縫塔	166	

14	月ヶ平の地藏菩薩坐像	182
15	康徳寺の石仏群	182
16	別迫砂田の石仏群	183
17	東神崎板壁の石仏	184
18	文裁寺墓地の石仏	184
(十)	その他の石造物	186
1	今高野山の結界石	187
2	今高野山粟島神社の石鳥居	187
3	津口野原の鳥居残欠	189
4	水が迫の石鳥居残欠	190
5	観音寺の笠塔婆残欠	191
6	万福寺跡の大乗妙典塔	191
7	万年寺跡の自然石僧侶墓碑	192
8	今高野山塔の岡の自然石逆修塔	193
9	中原の庚申供養碑	193
10	鳳林寺墓地の自然石墓石	194
11	津口法泉坊僧侶墓碑	194
12	丹治家の南無妙法蓮華経塔	195

13	乙丸の墓石	196
14	今高野山の石燈籠	196
15	今高野山の法界塔	197
16	川角の石橋供養塔	198
17	青近の種子道標	198
付	寺町廃寺の礎石	199
第二章	名主屋敷の比定と五輪塔	201
	——太田荘石造遺物の若干の考察にかえて——	
■	第二部 荘園の現地調査と石造遺物調査	241
第一章	太田荘の石造遺物の概観と特徴	241
(一)	石造遺物分布のパターン	241
1	全体の傾向	241
2	宝篋印塔の在り方	243
3	五輪塔の在り方	245
4	名と五輪塔	247
5	その他いくつかの傾向	251

(一) 造立年代の検討	252
1 石造遺物造立の地域的傾向	252
2 太田荘の場合	256
3 石造物を現地を訪ねて	258
4 南北朝期の墓地と五輪塔の実例	259
(三) 三原市域所在の石造遺物について	261
——この地方の特色を知るために——	
第二章 中世墓地・葬送の様相	263
(一) 発掘調査の事例から	263
(二) 文献史料から	266
第三章 荘園の現地調査と石造遺物の調査	268
おわりに	272

* 図版目次

図 1	太田荘故地の景観——寺町康徳寺付近からの眺望……………	4	図 20	十日市堂の層塔残欠……………	34
図 2	若永の層塔残欠……………	24	図 21	慈徳院墓地の宝塔……………	35
図 3	同……………	25	図 22	同 (塔身部)……………	35
図 4	同……………	25	図 23	日吉神社の宝塔 (府中市本山町)……………	36
図 5	同……………	25	図 24	福仙寺墓地の宝塔残欠……………	37
図 6	青目寺の五重塔 (府中市本山町)……………	25	図 25	安福寺の宝塔 (広島県甲奴郡上下町矢野)……………	37
図 7	川崎家の層塔残欠……………	26	図 26	今高野山胡神社脇の宝篋印塔 (鎌倉期)……………	45
図 8	柳迫の層塔残欠実測図……………	27	図 27	同 (室町初期)……………	45
図 9	万福寺跡の七重塔 (全景)……………	28	図 28	光明寺跡の宝篋印塔 (全景)……………	46
図 10	同 (層部)……………	29	図 29	同 (笠部)……………	47
図 11	同 (基礎・銘文)……………	29	図 30	同 (基礎部)……………	47
図 12	同 (相輪)……………	29	図 31	光明寺跡の宝篋印塔 (拓影)……………	47
図 13	昆沙門堂脇の五重塔……………	30	図 32	万福寺跡の宝篋印塔 (正平十二年銘)……………	48
図 14	昆沙門堂脇の三重塔……………	31	図 33	同 (笠部)……………	48
図 15	昆沙門堂脇の石塔……………	31	図 34	同 (基礎部)……………	48
図 16	福井家墓地の層塔……………	32	図 35	万福寺跡の宝篋印塔と二石五輪塔……………	49
図 17	福井家墓地の五輪塔……………	32	図 36	万福寺跡の宝篋印塔 (細部拓影)……………	49
図 18	福仙寺跡の三重塔……………	33	図 37	万福寺跡の宝篋印塔 (種子ポローン)……………	50
図 19	今高野山の層塔残欠……………	34	図 38	普光寺開山の宝篋印塔……………	51
			図 39	同 (塔身部拓影)……………	51
			図 40	同 (同)……………	51

図 41	普光寺墓地の宝篋印塔群……………	52	図 62	金剛丸の向い側にある石塔……………	62
図 42	普光寺境内西にある宝篋印塔……………	53	図 63	安田かなん堂脇の宝篋印塔……………	63
図 43	明覚寺跡の宝篋印塔・五輪塔……………	54	図 64	高山の宝篋印塔……………	64
図 44	明覚寺跡の宝篋印塔（向って右塔）……………	54	図 65	同（花崗岩製）……………	64
図 45	同（基礎部）……………	54	図 66	同（石灰岩製）……………	65
図 46	明覚寺跡の宝篋印塔（向って左塔）……………	55	図 67	神岡山の宝篋印塔……………	65
図 47	同（笠部）……………	56	図 68	川尻、薬師堂の宝篋印塔……………	67
図 48	同（基礎部）……………	56	図 69	福智院裏庭の宝篋印塔基礎……………	67
図 49	下津屋十二坊跡の宝篋印塔……………	57	図 70	東上原、大原家上の石塔残欠……………	68
図 50	同（基礎部）……………	57	図 71	同……………	68
図 51	十二坊跡、小型の宝篋印塔（室町末期）……………	58	図 72	同……………	68
図 52	同（室町中期）……………	58	図 73	白雲寺跡の宝篋印塔……………	69
図 53	小吹気の宝篋印塔……………	59	図 74	白雲寺跡の五輪塔……………	69
図 54	砂田、山近奥の宝篋印塔……………	59	図 75	歓喜寺跡の宝篋印塔ほか……………	70
図 55	同（基礎部拓影）……………	60	図 76	潮音寺の伝赤川氏墓地の宝篋印塔……………	71
図 56	北之坊の宝篋印塔（御調町下山田）……………	60	図 77	潮音寺の宝篋印塔(1)……………	72
図 57	同（基礎部上面）……………	61	図 78	同（2）……………	72
図 58	同（基礎部正面）……………	61	図 79	同（3）……………	72
図 59	金剛丸の宝篋印塔……………	61	図 80	同（4）……………	72
図 60	同（基礎部）……………	61	図 81	観音寺跡の宝篋印塔……………	73
図 61	同所の石仏……………	62	図 82	同（右塔）……………	73

図 83	長田篠村の宝篋印塔	75
図 84	善法寺の宝篋印塔	75
図 85	福仙寺跡の宝篋印塔	76
図 86	赤羽根の宝篋印塔	77
図 87	万年寺跡の宝篋印塔	78
図 88	同 (塔身部拓影)	78
図 89	東上原、徳万墓地の石塔	79
図 90	同	80
図 91	同	80
図 92	大坪の宝篋印塔・五輪塔	81
図 93	福田の黒杭氏墓地の石塔群	82
図 94	同所の宝篋印塔	82
図 95	潮染寺の宝篋印塔	83
図 96	同 (塔身部拓影)	83
図 97	善昌庵跡墓地の石塔群	84
図 98	同所の石灰岩製宝篋印塔	85
図 99	松ヶ崎の伝松尾修理大夫塔	85
図 100	石塔曾根の宝篋印塔	86
図 101	同	87
図 102	鳳林寺の伝湯浅氏宝篋印塔	87
図 103	同所の五輪塔	88

図 104	同所の宝篋印塔	88
図 105	伝大隅氏の宝篋印塔(御調郡久井町中野)	88
図 106	同 (基礎部)	88
図 107	文蔵寺墓地の宝篋印塔	89
図 108	同	90
図 109	同	90
図 110	今高野山観音堂前の宝篋印塔	90
図 111	同 (基礎部の銘文)	91
図 112	同 (同)	91
図 113	同 (同)	91
図 114	平谷家裏の宝篋印塔	95
図 115	久代城跡の宝篋印塔	96
図 116	同	96
図 117	深串家前の宝篋印塔	97
図 118	同	97
図 119	円城寺上の宝篋印塔	98
図 120	城の洲沢家裏山の宝篋印塔	98
図 121	同所の凝灰岩製の塔身	99
図 122	行者が原の宝篋印塔	99
図 123	同	100
図 124	千田平の宝篋印塔	100

図 125	同 (塔身部拓影)	101	図 146	同所の五輪塔	115
図 126	横路の石灰岩製宝篋印塔塔身部拓影	101	図 147	同所の五輪塔(石灰岩製)	115
図 127	水越、石塔坂の宝篋印塔	102	図 148	同所の五輪塔残欠(石灰岩製)	115
図 128	同 (基礎部)	102	図 149	安楽院墓地の五輪塔	116
図 129	重永の殿様墓	102	図 150	同所の五輪塔(地輪拓影)	116
図 130	下横路の宝篋印塔	103	図 151	安楽院墓地左側の五輪塔	117
図 131	目谷の宝篋印塔	104	図 152	(参考)松雲寺の五輪塔(双三郡布野村上布野)	117
図 132	大前寺跡付近の宝篋印塔	104	図 153	赤屋堂風呂の五輪塔群	118
図 133	同所の石塔残欠	104	図 154	同所の五輪塔	119
図 134	福仙寺跡の宝篋印塔	105	図 155	井折、住宅上の石塔	119
図 135	今高野山塔の岡の五輪塔	109	図 156	同所の地輪拓影	120
図 136	田打八幡神社の五輪塔	110	図 157	明覚寺跡墓地の五輪塔	120
図 137	寺町、箕口の五輪塔残欠	110	図 158	同	120
図 138	西川、窪田堂の五輪塔残欠	111	図 159	黒淵の金福寺跡の五輪塔群	121
図 139	(参考)城の鼻の五輪塔(三原市須波西町城ノ鼻)	111	図 160	同所の五輪塔	122
図 140	(参考)青目寺の五輪塔(府中市本山町)	111	図 161	同所の宝篋印塔	122
図 141	下津屋、田中家墓地脇の塔	112	図 162	万福寺跡の五輪塔群	123
図 142	同	112	図 163	同所の五輪塔	123
図 143	五反平の五輪塔残欠	113	図 164	地輪(カ)に尊像を彫出したもの	123
図 144	同	113	図 165	万福寺跡大仙社脇の五輪塔	124
図 145	洲沢家裏山の石塔群	114	図 166	久代谷、薬師堂の五輪塔群	125

図 187	窪田堂の五輪塔残欠	137
図 186	中迫こうげの五輪塔群	136
図 185	同	135
図 184	長寿椿の五輪塔群	135
図 183	同 (空風輪)	134
図 182	高橋家脇の五輪塔残欠	134
図 181	宮ヶ森の五輪塔群	133
図 180	柳原家上の五輪塔残欠	132
図 179	永安寺跡の石塔群	132
図 178	善法寺の五輪塔	131
図 177	高山の五輪塔	130
図 176	城の秋坂谷の五輪塔	129
図 175	福仙寺跡墓地の五輪塔	129
図 174	同 岡田実家裏の五輪塔	128
図 173	下津屋十二坊跡、権現山新墓下の五輪塔	127
図 172	同 (水輪上面)	127
図 171	下津屋、十二坊跡の五輪塔	127
図 170	同	126
図 169	水輪上部の奉籠孔	126
図 168	暦応年号の塔(地輪拓影)	126
図 167	久代谷の暦応年号の塔	125

図 188	本郷・寺町・神崎付近の略図	138
図 189	横坂地区の景観	139
図 190	横坂矢原の五輪塔群	139
図 191	定光地(平野氏)の経塚塔	140
図 192	同 (塔身部銘拓影)	140
図 193	文裁寺墓地の石灰岩製五輪塔	141
図 194	今高野山金剛寺墓地の五輪塔	141
図 195	同 (地輪拓影)	142
図 196	万福寺跡の二石五輪塔(南塔)	145
図 197	同 (北塔)	145
図 198	時森谷の二石五輪塔	146
図 199	善法寺の一石五輪塔	147
図 200	同	147
図 201	同	147
図 202	万年寺跡の一石五輪塔	148
図 203	同 (地輪拓影)	148
図 204	慈徳院墓地の一石五輪塔	149
図 205	同	149
図 206	照善寺境内の一石五輪塔	150
図 207	長尾の一石五輪塔	150
図 208	箱の旧延安家裏山の五輪塔群	151

図 229	京丸の板碑（正面）	161
図 228	同	160
図 227	宮広家前の板碑	160
図 226	金行家裏山の板碑 坐像拓影	159
図 225	（左）塔の岡板碑拓影 （右）金行家裏山の板碑拓影	159
図 224	峠の塔の岡板碑	159
図 223	川尻、坂東家墓地の墓石	157
図 222	尾道屋の墓碑	157
図 221	同 （地輪拓影）	156
図 220	三上家墓地の一石五輪塔（寛文三年）	156
図 219	西上原影政の一石五輪塔	155
図 218	同	155
図 217	今高野山墓地の一石五輪塔	154
図 216	同	154
図 215	小世良農免道路脇の一石五輪塔	154
図 214	赤屋の金藤家脇の一石五輪塔	153
図 213	同所の五輪塔・石仏	152
図 212	同 （他面）	152
図 211	箱の行旨家墓地脇の一石五輪塔	152
図 210	同 （江戸中期）	151
図 209	同所の一石五輪塔（室町末期）	151

図 230	同 （側面）	161
図 231	万福寺跡の板碑（正面）	162
図 232	同 （側面）	162
図 233	今高野山の種子板碑	162
図 234	今高野山の光明真言板碑	163
図 235	矢熊の自然石板碑	163
図 236	康徳寺開山の無縫塔	165
図 237	同	165
図 238	同 （竿部拓影）	166
図 239	慈徳院墓地の伝開山無縫塔	167
図 240	同 （基礎部拓影）	167
図 241	万年寺跡の重制無縫塔	167
図 242	同	168
図 243	万年寺跡の単制無縫塔（銘扶岩）	168
図 244	同 （銘長安）	168
図 245	文蔵寺墓地の無縫塔	169
図 246	丹下寺跡の無縫塔	170
図 247	東上原大原の石仏	173
図 248	同	173
図 249	同	173
図 250	上谷大池畔の石仏	174

図 271	文裁寺墓地の石仏	185
図 270	東神崎坂壁の石仏・石塔	184
図 269	別迫砂田の石仏群	183
図 268	康徳寺の石仏群	183
図 267	同 (側面)	182
図 266	月ヶ平の地藏菩薩坐像(慶長二年銘)	182
図 265	金光家裏の石仏	181
図 264	医王寺跡薬師堂脇の石仏	181
図 263	播磨赤羽根道脇の石仏	180
図 262	万福寺跡、宮広家脇の二尊石仏	180
図 261	同所の二尊石仏	179
図 260	永安寺跡の三尊石仏	179
図 259	同 (側面)	178
図 258	別迫辻堂の石仏(正面)	178
図 257	福仙寺跡の石仏	178
図 256	護摩堂脇の石仏	177
図 255	宗友荒神脇の六地藏	176
図 254	同	175
図 253	極楽寺の地藏菩薩立像(正面)	175
図 252	同所の基壇と台座	174
図 251	松葉屋横の辻堂の地藏菩薩	174

図 292	川角の石橋供養塔	198
図 291	今高野山の法界塔	197
図 290	今高野山の石燈籠	197
図 289	乙丸の墓石(貞享元年銘)	196
図 288	同 (寛永二年銘)	195
図 287	丹治家の南無妙法蓮華經塔	195
図 286	津口法泉坊の祐西墓碑	195
図 285	津口法泉坊の崇圓墓碑	195
図 284	鳳林寺の自然石墓石	194
図 283	中原の庚申供養碑	193
図 282	今高野山の有恵逆修碑	193
図 281	同	192
図 280	万年寺の自然石僧侶墓碑(永禄四年銘)	192
図 279	万福寺跡の大乗妙典塔	191
図 278	同 (拓影)	191
図 277	観音寺の笠塔婆殘欠	191
図 276	水が迫の石鳥居殘欠ほか	190
図 275	同 (右側柱)	189
図 274	津口野原の鳥居殘欠	189
図 273	今高野山粟島神社の石鳥居	188
図 272	今高野山の結界石	188

表 1	郡内の層塔一覧表……………	24	表 8	郡内の主要な石仏一覧表……………	171
表 2	郡内の主要な宝篋印塔（花崗岩製）一覧表……………	40	表 9	郡内のその他の主要な石造遺物一覧表……………	186
表 3	郡内の主要な石灰岩製の宝篋印塔一覧表……………	92	表 10	「寺町公文供給米徴符」に見える名……………	203
表 4	郡内の主要な五輪塔一覧表……………	107	表 11	太田荘石造遺物分布一覧表……………	209
表 5	郡内の主要な一石五輪塔一覧表……………	143	表 12	主な有紀年銘石造遺物一覧表……………	237
表 6	郡内の主要な板碑一覧表……………	158	表 13	石造遺物の所在箇所……………	251
表 7	郡内の主要な無縫塔一覧表……………	164	表 14	石造遺物の種別と地区ごとの残存数……………	251
			表 15	三原市における石造遺品種類別一覧……………	261
			表 16	年号銘の時代別分布……………	263
図 293	青近の種子道標……………	198	図 297	埼玉県における板石塔婆の年代分布……………	254
図 294	寺町廃寺の礎石……………	199	図 298	千葉県（下総・上総・安房）における金石文年号銘の分布……………	255
図 295	寺町・本郷・京丸地区の名比定図……………	202	付図	太田荘石造遺物分布図……………	折込
図 296	『奈良県金石文年表』による年号銘の分布……………	253			

*表目次

**Bulletin of
the National Museum of
Japanese History**

vol. 9 Joint Study on the Method of Conducting On-Site Investigations of the
Shōen of the Middle Ages. I: The Stone Monuments of Ōta-shō.

Contents :

TSUCHIDA, N.	Preface	1
TANAKA, M.	The Significance of On-Site Investigations of the Shōen of the Middle Ages	19
HADA, K. and KURAHASHI, S.	The Actual Condition of the Stone Monuments at Ōta-shō.....	23
SUITŌ, M.	On-Site Study of Shōen and the Investigation of Stone Monuments	241

Mar. 1986

国立歴史民俗博物館研究報告寄稿要項

1. 国立歴史民俗博物館研究報告は、歴史学、考古学、民俗学およびそれらの協業による広義の歴史学ならびにそれらと関連する諸科学に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
2. 国立歴史民俗博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立歴史民俗博物館（以下「本館」という。）の教官(客員教授等を含む。)および本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員および研究協力者等
 - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立歴史民俗博物館研究委員会（以下「研究委員会」という。）において行う。
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、研究委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、研究委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿には、原則として英文により400語程度の要旨を付けるか、あるいは英訳用の和文800字以内の要旨を付けるものとする。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、研究委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書し、原稿の写し1部を添付するものとする。
9. 寄稿された原稿は、研究委員会において検討のうえ、採否を決定する。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285 佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館内
国立歴史民俗博物館研究委員会（電話 代表 0434-86-0123）

国立歴史民俗博物館研究報告 第9集

昭和61年3月1日 印刷

昭和61年3月5日 発行（非売品）

編集・発行 国立歴史民俗博物館
〒285 千葉県佐倉市城内町117
電話 0434-86-0123（代表）

印刷 第一法規出版株式会社
〒107 東京都港区南青山2-11-17
電話 03-404-2251（代表）

Bulletin of the National Museum of Japanese History

vol. 9 Joint Study on the Method of Conducting On-Site
Investigations of the Shōen of the Middle Ages.
I: The Stone Monuments of Ōta-shō.

TSUCHIDA, N. Preface

TANAKA, M. The Significance of On-Site Investigations of
the Shōen of the Middle Ages

HADA, K. and KURAHASHI, S.
The Actual Condition of the Stone Monuments at Ōta-shō

SUITŌ, M. On-Site Study of Shōen and the Investigation of
Stone Monuments

Mar. 1986